

巻 頭 言

風

取締役副所長

細野 晃



世の中には流行というものがある。

音楽，服装，自動車のスタイル 等，一般的には形と色である。

また生活のパターンとか，言葉とか，更には社会的要求から来るムード的なものもある。流行のソフトウェア，とでも言うべきか。

工学的分野の研究は世の流行とは関係ないという言いかたもできる。無関係であるべき，という意見もあるかもしれない。現実には大きく影響されている。社会的必要性というものもある時は流行になってしまう。そういう流行にうまく沿えば，研究予算の獲得も安易だという事実も，我々の身近なところから大きくは国家レベルのものまで枚挙にいとまがない。

技術と流行は互いに影響し合って社会を作っていく。その両者の織りなす情景を描いたら面白いと思う。感性をテーマにしている人も多いのだから，それぞれの立場でいろいろな場面で論じてもらいたいと思う。

トライボロジーの特集号とのことである。この技術分野は流行に最も縁がないものの一つである。従来に比べて桁ちがいの効果を示すようなことは現われないが，着実に場面を拓げ，効果を積み上げ，常に進歩している地味と言ってよい分野である。しかし，トライボロジーに携わっている人々は，研究している人もそれを利用する人も，あまり地味ではなく活発な活動の好きな人々のようである。